

# 令和4年度

## 全国学力・学習状況調査の結果について

### ～白老町の児童生徒の概況～

#### I 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各市町村教育委員会及び各学校が、自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

#### II 調査の対象学年（実施総数）

小学校第6学年、中学校第3学年

	白老町	北海道	全国（公立）
小学校	51名	34,309名	965,308名
中学校	56名	32,910名	903,157名

#### III 調査の内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）
- (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査
  - ①児童生徒に対する調査
  - ②学校に対する調査

#### IV 調査実施日

令和4年4月19日（火）

#### V 内容構成

- 1 調査結果の概況
- 2 領域別の結果概況
  - ・小学校（国語、算数、理科）
  - ・中学校（国語、数学、理科）
- 3 児童・生徒質問紙調査の概況（小・中）
  - ・基本的な生活習慣、学習時間等、自尊感情、将来に関する意識、規範意識

## 白老町教育委員会

令和4年8月

# 1. 調査結果の概況

## (1) 白老町の児童（小学校）の状況

### 国語

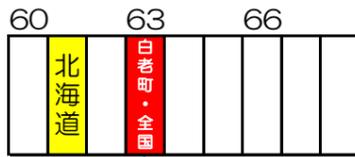
国語	平均正答率
全国（公立）	65.6
北海道（公立）	64
白老町	67



白老町の児童の平均正答率はここに属しており、「全国とほぼ同様（上位）」「全道よりやや高い」の範囲に属しています。

### 算数

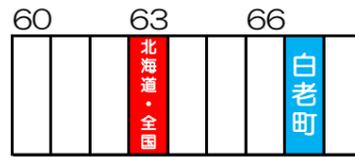
算数	平均正答率
全国（公立）	63.2
北海道（公立）	61
白老町	63



白老町の児童の平均正答率はここに属しており、「全国と同様」「全道とほぼ同様（上位）」の範囲に属しています。

### 理科

理科	平均正答率
全国（公立）	63.3
北海道（公立）	63
白老町	67

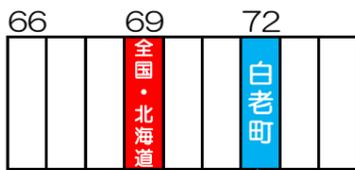


白老町の児童の平均正答率はここに属しており、「全国・全道よりやや高い」の範囲に属しています。

## (2) 白老町の生徒（中学校）の状況

### 国語

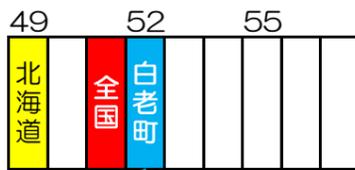
国語	平均正答率
全国（公立）	69
北海道（公立）	69
白老町	72



白老町の生徒の平均正答率はここに属しており、「全国・全道よりやや高い」の範囲に属しています。

### 数学

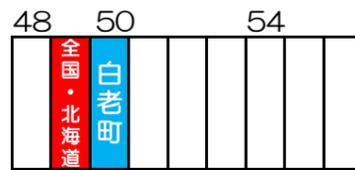
数学	平均正答率
全国（公立）	51.4
北海道（公立）	49
白老町	52



白老町の生徒の平均正答率はここに属しており、「全国と同様」「全道よりやや高い」の範囲に属しています。

### 理科

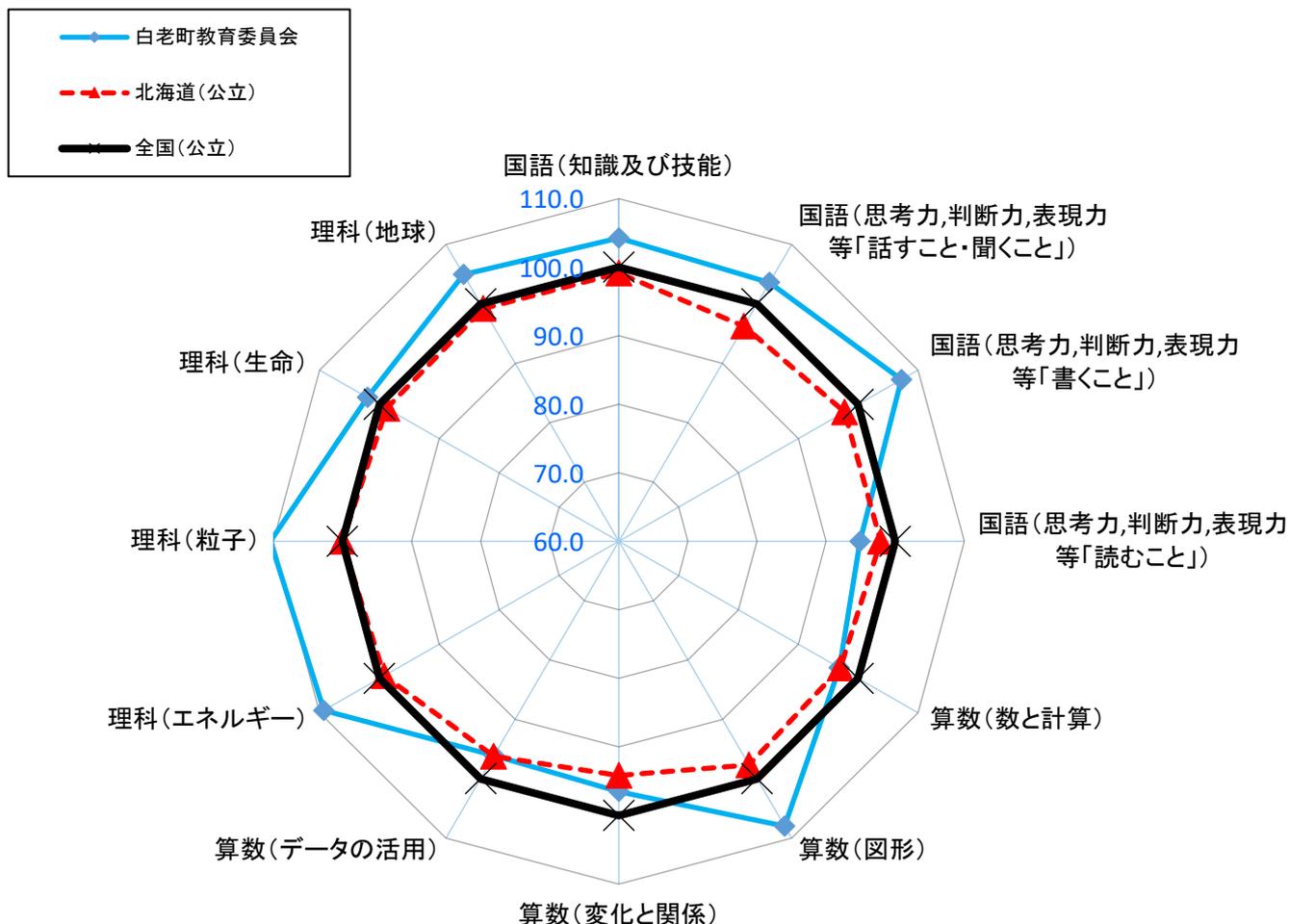
理科	平均正答率
全国（公立）	49.3
北海道（公立）	49
白老町	50



白老町の生徒の平均正答率はここに属しており、「全国・全道と同様」の範囲に属しています。

## 2. 領域別の結果概況

### < 小学校 >



### 小学校【国語】

- ・「思考力,判断力,表現力等「書くこと」の領域は、全国平均より極めて高い傾向にあります。
- ・「知識及び技能」「思考力,判断力,表現力等「話すこと・聞くこと」の領域は、全国平均よりやや高い傾向にあります。
- ・「思考力,判断力,表現力等「読むこと」の領域は、全国平均より低い傾向にあります。

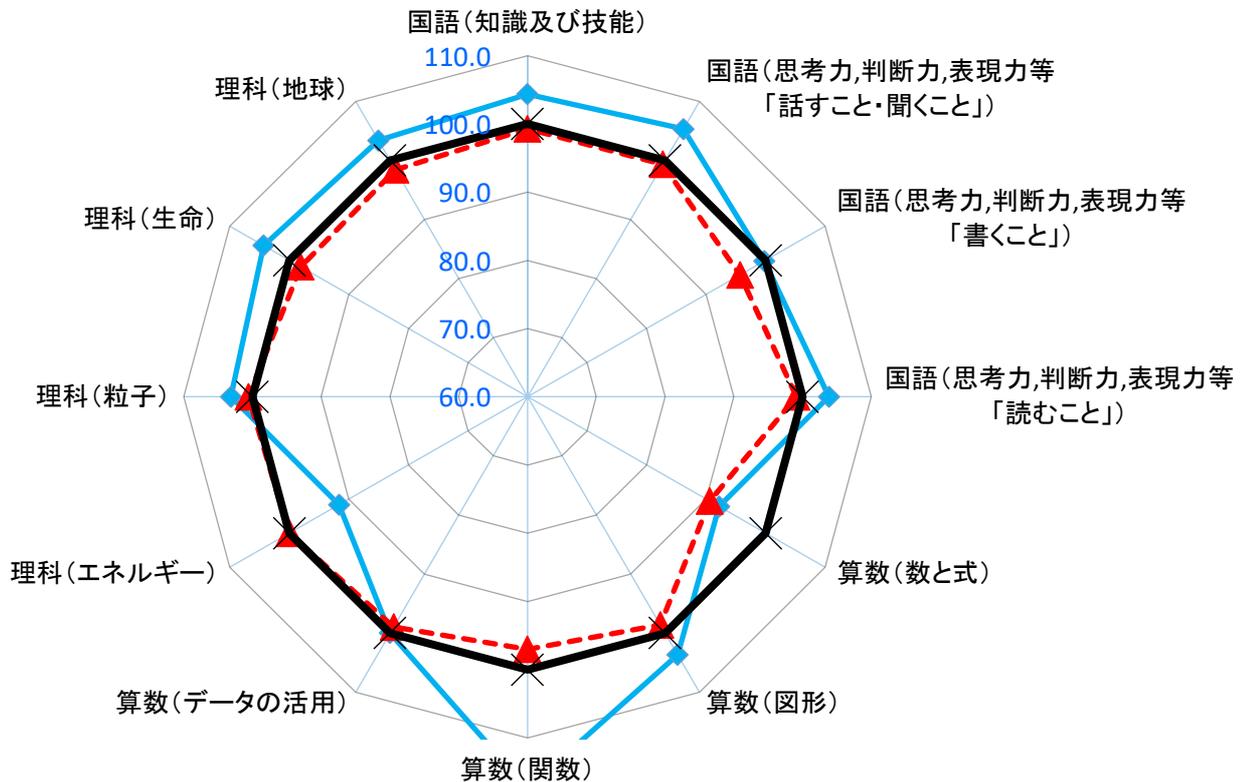
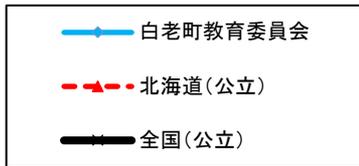
### 小学校【算数】

- ・「図形」の領域は、全国平均より極めて高い傾向にあります。
- ・「数と計算」「変化と関係」「データの活用」の領域は、全国平均よりやや低い傾向にあります。

### 小学校【理科】

- ・「エネルギー」「粒子」の領域は、全国平均より極めて高い傾向にあります。
- ・「地球」の領域は、全国平均より高い傾向にあります。
- ・「生命」の領域は、全国平均とほぼ同様（上位）にあります。

## < 中学校 >



### 中学校【国語】

- 「思考力,判断力,表現力等「話すこと・聞くこと」の領域は、全国平均より高い傾向にあります。
- 「知識及び技能」「思考力,判断力,表現力等「読むこと」の領域は、全国平均よりやや高い傾向にあります。
- 「思考力,判断力,表現力等「書くこと」の領域は、全国平均と同様にあります。

### 中学校【数学】

- 「関数」の領域は、全国平均より極めて高い傾向にあります。
- 「図形」の領域は、全国平均よりやや高い傾向にあります。
- 「データの活用」の領域は、全国平均と同様にあります。
- 「数と式」の領域は、全国平均より極めて低い傾向にあります。

### 中学校【理科】

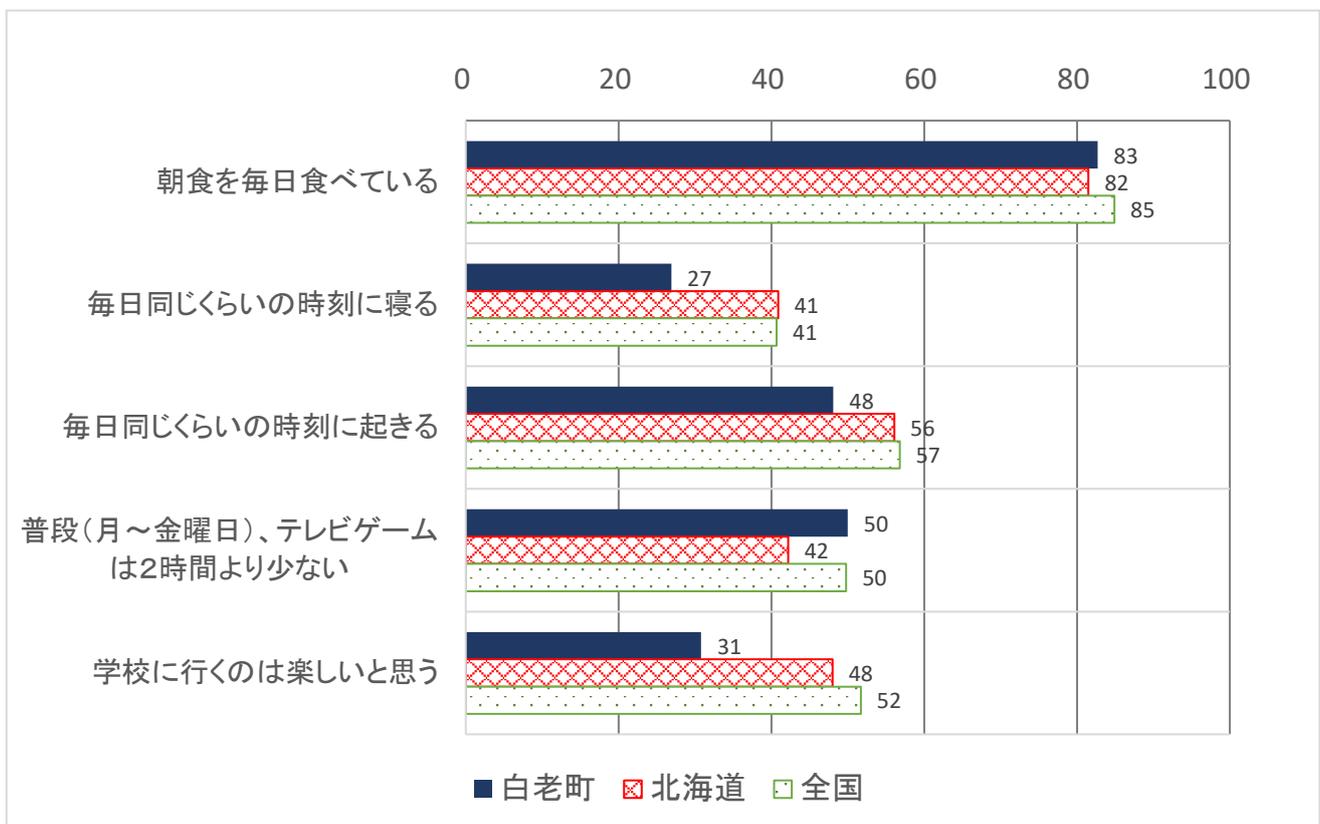
- 「粒子」「生命」「地球」の領域は、全国平均よりやや高い傾向にあります。
- 「エネルギー」の領域は、全国平均より極めて低い傾向にあります。

## 3-1. 児童質問紙調査の概況（小学校）

### ◇ 小学校 基本的な生活習慣 ◇

質問の内容（数値は、パーセントを表しています）

質問項目	白老町	北海道	全国
朝食を毎日食べている	83	82	85
毎日同じくらいの時刻に寝る	27	41	41
毎日同じくらいの時刻に起きる	48	56	57
普段（月～金曜日）、テレビゲームは2時間より少ない	50	42	50
学校に行くのは楽しいと思う	31	48	52



（状況）

- ・「普段、テレビゲームをする時間が2時間より少ない」と回答した児童の割合は、全国平均と同様である。
- ・「朝食を毎日食べる」と回答した児童の割合は、全国平均とほぼ同様（下位）である。
- ・「同じくらいの時刻に寝る、起きる」「学校に行くのは楽しい」と回答した児童の割合は、全国平均よりも極めて低い。

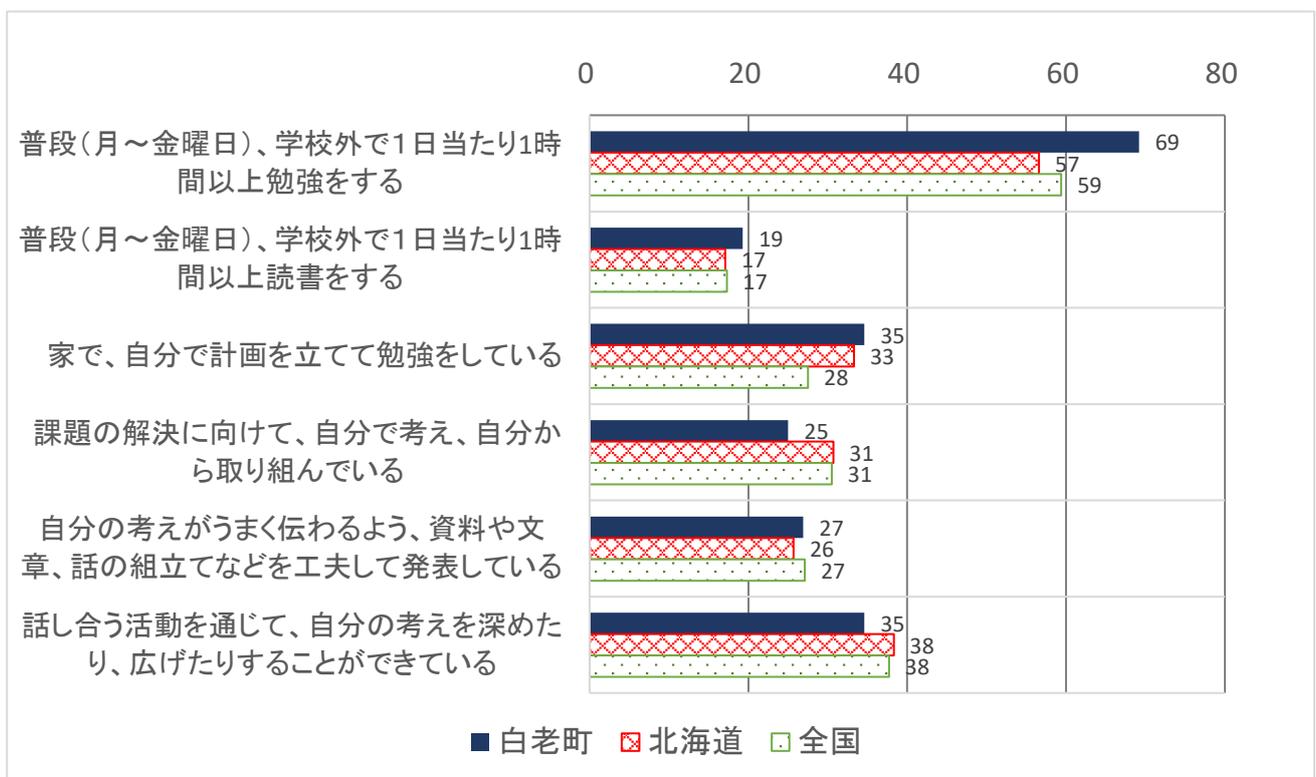
◆テレビゲームの時間が2時間以内である児童の割合は、全国平均とほぼ同様です。ただし、2時間以内であれば良いわけではありませんので、引き続き、家庭での過ごし方を見直し、家族との会話やお手伝い、運動、読書の時間を増やすなどの働きかけをしていきます。

◆起床、就寝時刻などの生活リズムを整えるとともに、「学校に行くことが楽しい」と思う児童の割合が増えるよう、授業や学校生活を工夫していきます。

◇ 小学校 学習時間等 ◇

質問の内容

質問項目	白老町	北海道	全国
普段（月～金曜日）、学校外で1日当たり1時間以上勉強をする	69	57	59
普段（月～金曜日）、学校外で1日当たり1時間以上読書をする	19	17	17
家で、自分で計画を立てて勉強をしている	35	33	28
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる	25	31	31
自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している	27	26	27
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている	35	38	38



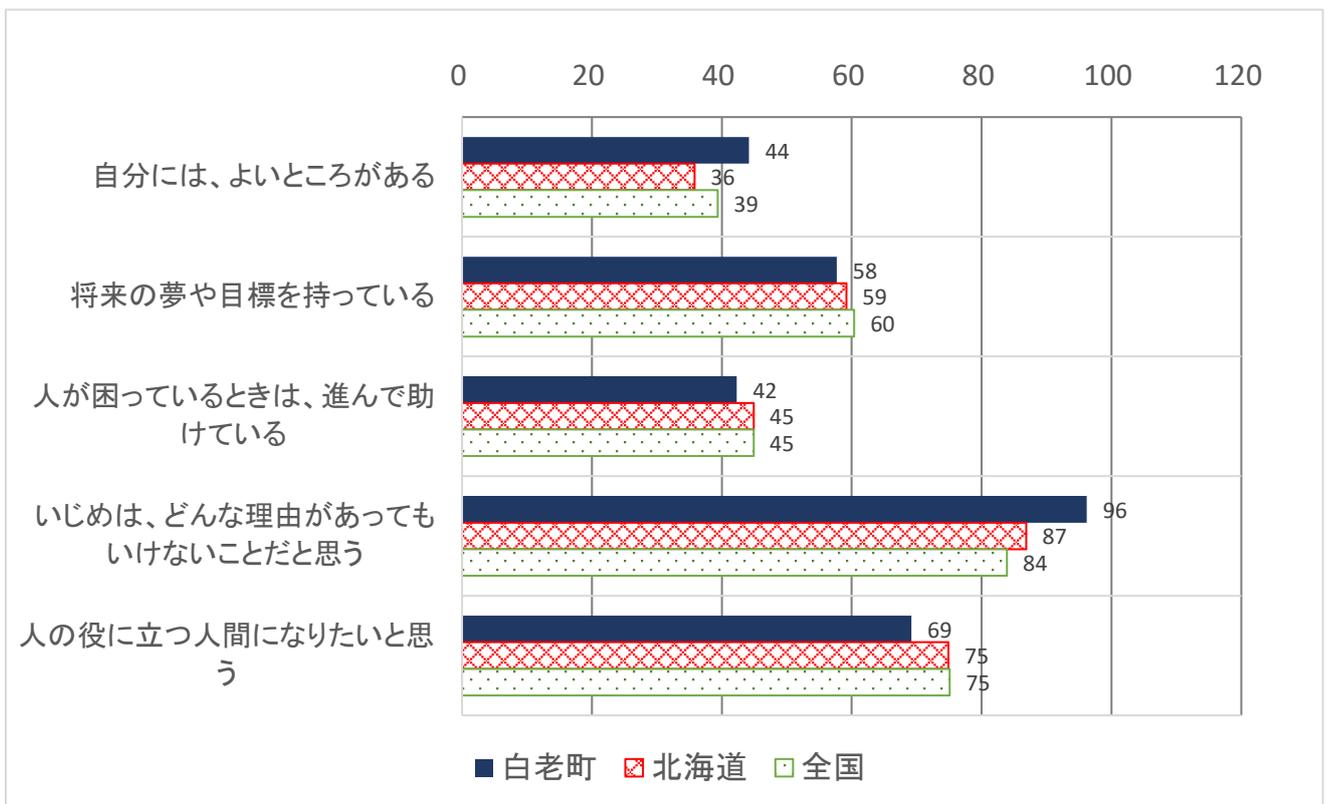
(状況)

- 「普段、学校外で1日1時間以上勉強をする」「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合は、全国平均よりも極めて高い。
- 「普段、学校外で1日1時間以上読書をする」と回答した児童の割合は、全国平均とほぼ同様（上位）である。「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」と回答した児童の割合は、全国平均と同様である。
- 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童の割合は、全国平均よりもやや低い。「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」と回答した児童の割合は、全国平均よりも低い。

◆「学校外で1時間以上勉強している」「自分で計画を立てて勉強をしている」児童が多いことは、大変素晴らしいことです。  
 ◆児童が主体的に学習に取り組み、学び合いを通して学習を深めていく授業への手応えが更に感じられるよう秋田型授業をモデルとした授業改善を推進していきます。

質問の内容

質問項目	白老町	北海道	全国
自分には、よいところがある	44	36	39
将来の夢や目標を持っている	58	59	60
人が困っているときは、進んで助けている	42	45	45
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	96	87	84
人の役に立つ人間になりたいと思う	69	75	75



(状況)

- ・ 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童の割合は、全国平均よりも極めて高い。「自分には、よいところがある」と回答した児童の割合は、全国平均より高い。
- ・ 「将来の夢や目標を持っている」「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した児童の割合は、全国平均とほぼ同様（下位）である。
- ・ 「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した児童の割合は、全国平均よりも低

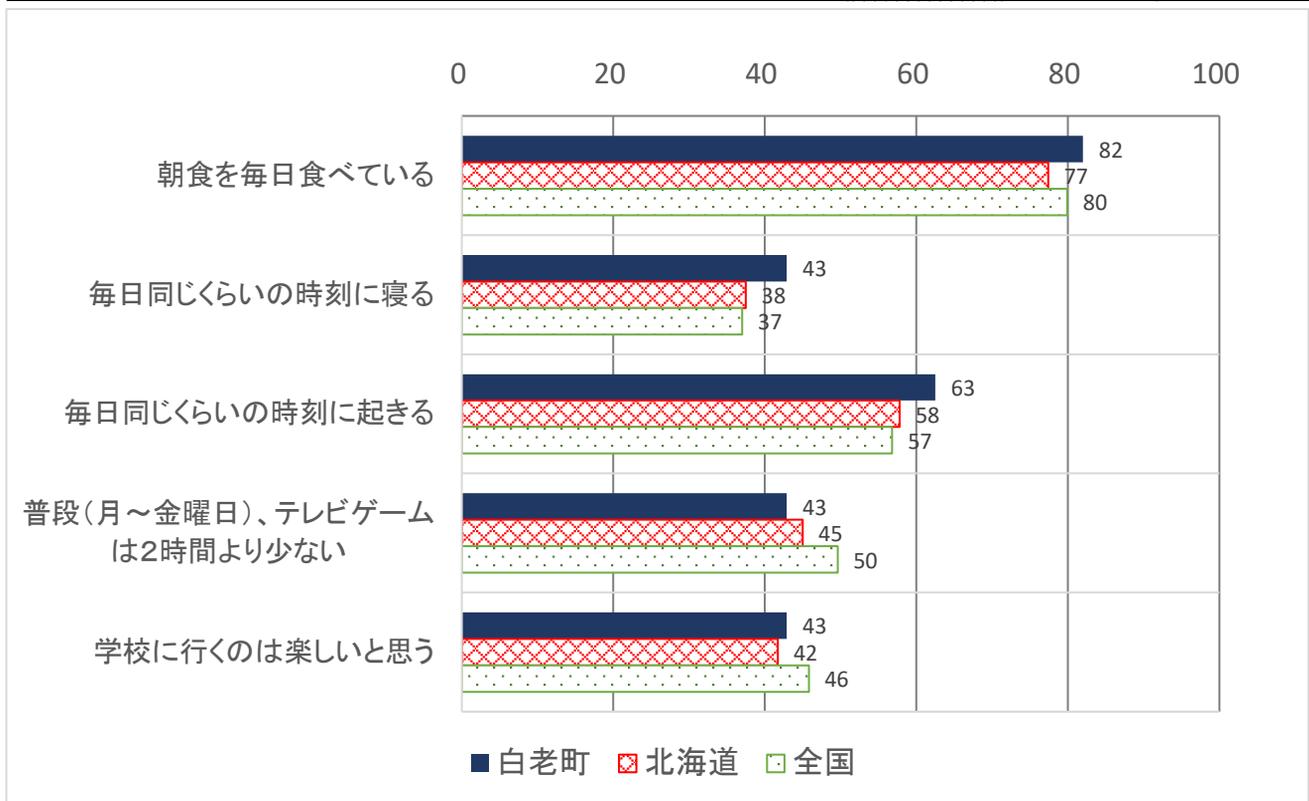
◆自己肯定感やいじめを許さない心など、本町で取り組んでいる心の教育やキャリア教育などの成果が見られます。道徳教育をはじめ、様々な体験活動やコミュニケーション能力の育成を通して、自分の価値を認識しながら、他者と協働することの重要性などへの理解を深めていきます。

## 3-2. 生徒質問紙調査の概況（中学校）

### ◇ 中学校 基本的な生活習慣 ◇

#### 質問の内容

質問項目	白老町	北海道	全国
朝食を毎日食べている	82	77	80
毎日同じくらいの時刻に寝る	43	38	37
毎日同じくらいの時刻に起きる	63	58	57
普段（月～金曜日）、テレビゲームは2時間より少ない	43	45	50
学校に行くのは楽しいと思う	43	42	46



#### （状況）

- ・「同じくらいの時刻に寝る、起きる」と回答した生徒の割合は、全国平均よりも高い。
- ・「朝食を毎日食べている」と回答した生徒の割合は、全国平均とほぼ同様（上位）である。
- ・「普段、テレビゲームをする時間が2時間より少ない」と回答した生徒の割合は、全国平均より低い（2時間以上もテレビゲームをしている生徒が多い）。
- ・「学校に行くのは楽しいと思う」と回答した生徒は、全国平均とほぼ同様（下位）である。

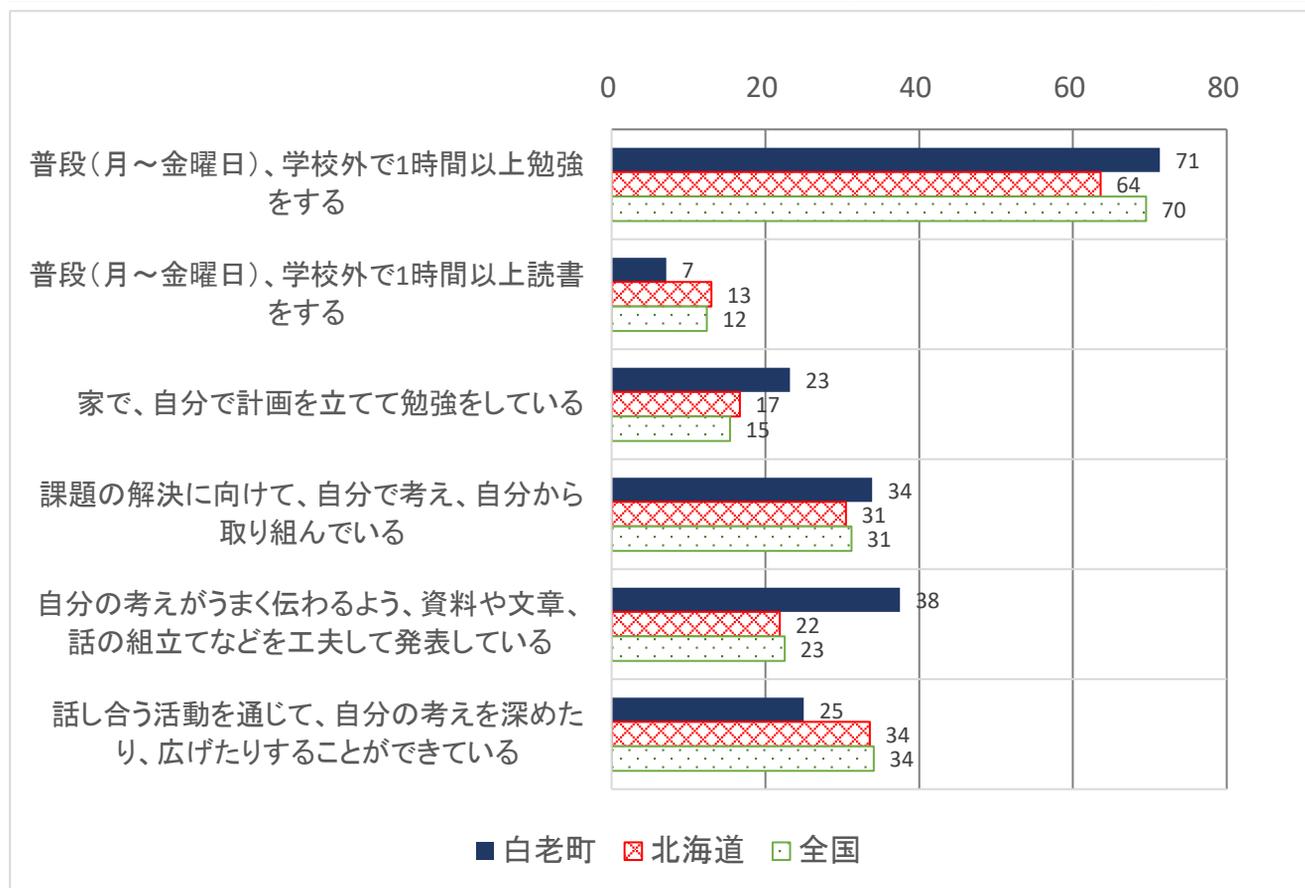
◆基本的な生活習慣に関する質問に関しては、全国平均より高いか同様であり、基本的な生活習慣が身に付いていると言えます。

◆テレビゲームを2時間以上する生徒の割合が高いことが課題です。家庭での過ごし方を見直し、家族との会話や家庭での役割、運動、読書の時間を増やすなどの働きかけをしていきます。

◇ 中学校 学習時間等 ◇

質問の内容

質問項目	白老町	北海道	全国
普段（月～金曜日）、学校外で1時間以上勉強をする	71	64	70
普段（月～金曜日）、学校外で1時間以上読書をする	7	13	12
家で、自分で計画を立てて勉強をしている	23	17	15
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる	34	31	31
自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している	38	22	23
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる	25	34	34



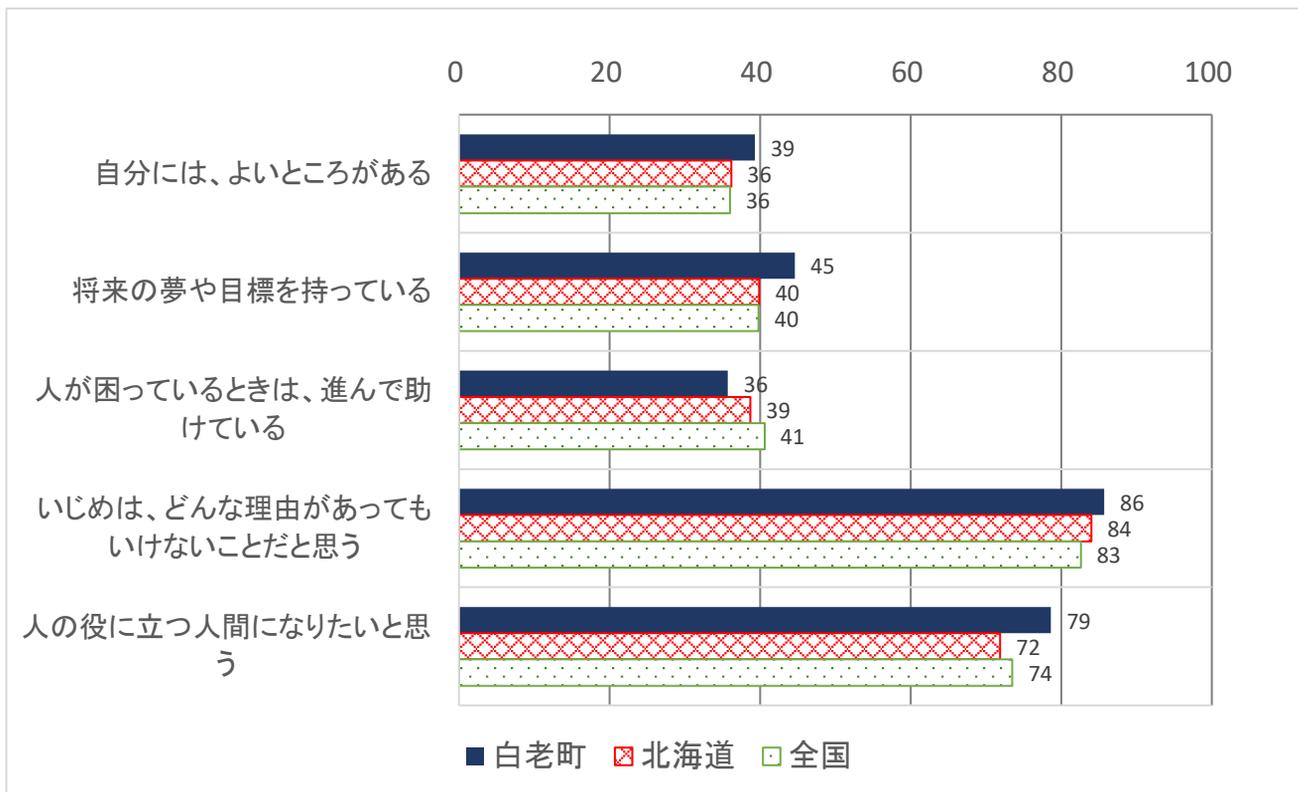
(状況)

- ・「自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合は、全国平均よりも極めて高い。
- ・「学校外で1日1時間以上勉強をする」と回答した生徒の割合は、全国平均と同様である。
- ・「学校外で1日1時間以上読書をする」と回答した生徒の割合は、全国平均より低い。
- ・「主体的・対話的で深い学び」に関わる質問については、全国平均より高い項目が多い。

◆「自分で計画を立てて勉強をしている」生徒が多く、学習時間も全国平均と同様に確保できていることは素晴らしいことです。引き続き、学習の質と量の向上を促していきます。  
 ◆生徒が主体的に学習に取り組み、学び合いを通して学習を深めていく授業への手応えが感じられます。秋田型授業をモデルとした授業改善を更に推進していきます。

質問の内容

質問項目	白老町	北海道	全国
自分には、よいところがある	39	36	36
将来の夢や目標を持っている	45	40	40
人が困っているときは、進んで助けている	36	39	41
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	86	84	83
人の役に立つ人間になりたいと思う	79	72	74



(状況)

- ・ 「人の役に立つ人間になりたい」と回答した生徒の割合は、全国平均より高い。
- ・ 「自分には、よいところがある」「将来の夢や目標を持っている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した生徒の割合は、全国平均よりやや高い。
- ・ 「人が困っているときは、進んで助ける」と回答した生徒の割合は、全国平均よりやや低い。

◆将来の夢や目標をもっていたり、いじめを許さない心が育っていたりするなど、本町で取り組んでいる心の教育やキャリア教育などの成果が見られます。

◆自己肯定感や自尊感情も高い傾向にあります。引き続き、道徳教育をはじめ、様々な体験活動やコミュニケーション能力の育成を通して、自分の価値を認識しながら、他者と協働することの喜びを感じられるよう関わりを続けます。